

業界が認める パンチングプレスのトップ企業

歴史と実績が磨き上げた金網技術と厚い信頼

株式会社奥谷金網製作所



▲戦後間もない頃に使用していた加工機と奥谷社長（神戸本社ミュージアムにて）

奥谷金網製作所は、各種工業用金網、フィルター加工品およびパンチングメタル（打抜金網）の製造・販売を手がける。「顧客から選ばれる企業」を目指し、創業以来、常に変化する時代のニーズに応じた製品・技術の開発に取り組んでいる。

創業は1895年。現社長・奥谷智彦氏の曾祖父・奥谷儀三郎氏が、淡路島から大阪の金網業者に奉公に出て修行し、「地元の神戸で一旗揚げよう」と創業した。創業当初は手作業により、籠やふるい、杓子などの金物製品の加工を手がけていた。現在も、金網製造という同社の事業はほとんど変わっていないが、特に戦後は工業化の波に乗り、社会インフラ向けの金網製造が、事業において大きなウエイトを占めるようになった。

「我が社は、メッシュ・パンチングメタル・フィルター等の製造・販売を通じて、地球環境維持に貢献が出来る製品を世の中に提供する企業である」。「我が社は、お客さま・仕入先様から選ばれる企業へ」。「我が社は、社員の自己実現を達成する、挑戦空間である」という3つの理念は現在も脈々と引き継がれている。

過去から現在の歴史をPR

「目指せ 業界世界一の技術力」をスローガンに掲げる同社。JR神戸駅前に構える本社社屋には、ショールームのほかミュージアムも併設されており、同社の創業時から現在に至る2000点以上の製品や技術の